



レイダース／失われた星々



映画のインディ・ジョーンズが宝探しをしているみたいに、科学者のなかまたちは、実際に私たちの銀河のなかを探して、かくされた宝石箱を見つけました。これらの宝石は、インディ・ジョーンズが見つけたがっているかもしれないダイヤモンドより、はるかに目を見張るものです。それは目もくらむような星々です！

私たちに一番近い恒星である太陽、その半分よりも重い質量の星は、「散開星団」というグループの中で生まれます。しかし、星は非常にチリが多い場所で生まれるので、大部分の望遠鏡では散開星団を見つけるのが難しいです。「手前にあるチリによって散開星団は1万倍から1億倍も暗くなってしまいます。」とクルテフ教授は言っています。

しかし、クルテフ教授やほかの天文学者たちは、ビスタ (VISTA) という新しい望遠鏡を使って、これまでかくれて見えていなかった散開星団を、私たちの銀河系 (天の川銀河) の中に新たに96個発見しました。その宝物の中から少しだけ選んだものを上の画像に示しています。

散開星団は多いものでは数千個ほどの星からできるのですが、発見されたばかりのもの的大部分は、それぞれ約10個から20個の星しかありません。光がかすかで小さな散開星団が、一度にこんなにたくさん見つかったのは初めてのことです！

COOL FACT

天の川銀河に散開星団は2,500個しか見つかっていませんが、まだ3万個は発見を待っているかも、と科学者は言っています。あなたも将来 (しょうらい) 若いインディ・ジョーンズになって、これらの失われた宝石を見つけませんか？



More information about EU-UNAWA
Space Scoop: www.unawe.org/kids/